



たかの博幸 ひろゆき

2016.5 No. 48

# 市政れぽーと

連絡先／大分市田尻南2丁目3-17 TEL 586-1156 FAX 586-1186 E-mail : takano.hiroyuki.0425@gmail.com

## 防災意識を高めよう

4月14日に熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生しました。16日にも阪神大震災に匹敵する規模のマグニチュード7.3の地震が熊本県で発生し、熊本で震度7、大分市で5弱を観測しました。その後も熊本県や大分県で余震が続き、被害が拡大しています。犠牲になられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2016年4月22日 大分市議会議員 高野博幸

### 地震にどう備えるか？

大地震の発生に備えて、建物や土地の安全性など、私たちの身のまわりにどんな危険個所があるのかをチェックし、事前に安全対策をしておきましょう。食料、水などの備蓄や家具の転倒防止対策は、私たちの命を守る最も有効な手段です。

### 家族で話し合っておくことは？

実際に地震が発生したときのことを想定して、各自ですべきことや避難場所、連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。



### 災害対策は地域のみならず！

災害発生時の対応や被害の大きさは、日ごろからいかに地域住民が協力し合い、準備を行っていたかによって変わってきます。いざというときに組織の力を発揮できるよう、平常時においてもみんなで連携し合いながら防災活動に取り組みましょう。

### 大分市防災メールに登録を！

大分市の防災情報（地震情報や津波警報など）を携帯電話やパソコンで受信できます。災害に対する備えとして、ぜひお役立てください。※登録や情報の利用は無料ですが、メールの送受信や案内ページの閲覧などの通信費は登録者の負担になります。

※お問い合わせ先 ☎537-5664

登録はこちらから→



### お知らせ

ホームページを開設しましたのでご覧ください。

<http://takano-oita.com>



# 4月14日開催の厚生常任委員会で環境部から家庭ごみ有料化制度導入2カ年度の状況についての報告がありました。

## 1 家庭ごみ有料化制度の実施状況

### ごみ排出量 (制度導入前年の同期間との比較)

1年目 (H26年11月～27年10月)

燃やせるごみ	約10,696トﾝ削減	削減率 11.5%
燃やせないごみ	約1,429トﾝ削減	削減率 22.6%
合計	約12,125トﾝ削減	削減率 12.2%

2年目 (H27年11月～28年3月)

燃やせるごみ	約2,693トﾝ削減	削減率 7.5%
燃やせないごみ	約47トﾝ削減	削減率 2.3%
合計	約2,740トﾝ削減	削減率 7.2%

※1年目は、制度導入前の9・10月に大量の駆け込み排出が行われ、1年のトータルでの削減率に大きく影響した。2年目の昨年11月は、前年の11月が制度導入月で、排出が大幅に減少したことにより削減率は下回ったが、12月から3月は、前年とほぼ同様の削減率となっている。

### 資源プラ回収量

1年目 (H26.11～27.10)	約651トﾝ増加	増加率 25.6%
2年目 (H27.11月～28.3)	約304トﾝ増加	増加率 29.9%

## 2 課題

- ①制度開始2年目に入り、1年目のごみ排出量の削減率を年間トータルで維持できるかどうかは課題となることから、さらなるごみ減量とリサイクル推進に、市民と協働で取り組んでいく必要がある。
- ②市民の皆様から、「資源物が適正に分別されていない」、「回収された資源物はどうなっているか」などの意見をいただいていることから、これまで以上に意見等を聞かせていただく機会を設け、ごみ減量とリサイクル推進に関する情報提供や啓発に努めていく必要がある。

## 3 今後の取り組み

- ①制度導入2年目のごみ排出量等を随時把握し、その状況の分析と、ごみ減量・リサイクル推進施策の周知・啓発について、自治会の52校区単位での懇談会を早期に開催していく。
- ②27年度から開催している「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」を、幅広い年齢層を対象に内容も充実させていくとともに、各種イベント、広報媒体等を通じて、よりきめ細やかな情報提供や啓発に努めていく。

## たかのっ走る



1月	5日	植田地区新年祝賀互礼会	3月	5日	クラシノソコアゲ実現3.5決起集会
	6日	連合大分新春懇談会		24日	地域活性化対策特別委員会
	9日	高教組新春旗開き		25日	「大分市民のこころといのちを守る条例」 施行前の広報
	10日	大分市消防団出初式 大分市成人記念集会		27日	田尻南2丁目自治会総会
	22日	こどもルームもちつき大会		28日	由布大分環境衛生組合議会臨時会
2月	26日	厚生常任委員会	4月	3日	歳神社春の大祭
	5日	由布大分環境衛生組合議会定例会		12日	植田南中学校入学式
	9日	神奈川県相模原市視察 「議会の通年開催について」		13日	田尻小学校入学式 あなたの町の郵便局月例会 (ボウリング)
	10日	大阪府大阪狭山市視察 「議会の通年開催について」		14日	厚生常任委員会
	24日	大分市総合計画検討委員会(全体会)		25日	大分生活文化展実行委員会臨時総会
28日	大分川ダム本体建設工事定礎式	26日	ななせの火群まつり振興会総会		

### 編集後記

月例会(ボウリング)に久しぶりに参加した。1ゲーム目は、調子が良かったが2、3ゲームとスコアは悪くなり、おわってみたいいつものブービーだった・・・

## 3月議会

## 2016年度当初予算承認・1,776億円 (一般会計・過去最大)

民生費・734億1,500万円 土木費・205億9,000万円  
教育費・195億6,900万円 公債費・196億7,400万円 (借金返済)

3月4日～25日まで議会が開かれ当初予算を承認しました。一般会計予算は1,776億円で過去最高額です。主に民生費、土木費、教育費が昨年の6月補正後に比べ大幅な増額で、逆に公債費は4億5,000万円ほど減額になっています。

## 交替します

## 副市長 (2名)

## 水道事業管理者、代表監査委員

前副市長 (小出氏、右田氏)、前水道事業管理者 (神矢氏)、前代表監査 (佐藤氏) が、副市長 (久渡晃氏、桑田龍太郎氏)

水道事業管理者 (三重野小二郎氏)、代表監査 (佐藤日出美氏) に交替することになりました。

## 【主な新規事業】 (51事業で主なものは次の通りです)

## ◎「地域の魅力発見！」展示事業・・・750万円

本市の工業製品や伝統工芸品等を各支所に展示する。

## ◎ワンコインがん検診事業・・・3,000万円

がん検診の受診率向上のため、自己負担がある場合500円に統一する

## ◎大分駅府内中央口広場屋外トイレ設置事業・・・3,300万円

駅府内中央口広場に、住民や来訪者が安心して心地よく使える魅力的なトイレを新築する。

## ◎県都中心市街地まちづくりグランドデザイン策定事業・・・500万円

新大分市総合計画をベースに都市計画マスタープラン等の課題を整理し、今後のまちづくりの方向性を示す。

## ◎ラグビーワールドカップおもてなし準備事業・・・120万円

2019年ラグビーワールドカップの大分開催に向け英会話研修など受け入れ体制を整える。

## ◎バイオマス利活用事業・・・1,522万円

残飯等のバイオマスの利活用方法や事業化への可能性を調査する。

## ◎大分市かた昼消防団育成事業・・・400万円

小中学生でかた昼消防団を結成し、自助精神の醸成と地域防災の人材育成を行う。

## ◎地域おこし協力隊事業・・・1,360万円

野津原、佐賀関、大南地区に他都市から移住者を受け入れ、地域の魅力発信に取り組む。

## ◎三世代近居・同居ハッピーライフ推進事業・・・105万円

親世帯と子どもがいる子世帯が近居や同居する際、固定資産税等相当額の補助をする。

## ◎カセットボンベ穴開け不要化事業・・・3,300万円

現在市民にお願いしているガスボンベの穴開けを不要とし、収集後に機器を使って穴を開ける。



賀来分団「かた昼消防団活動」

### ◎水素エネルギー導入推進事業・・・1,450万円

水素利活用計画の策定をする。燃料電池自動車の購入に対して1台あたり50万円の補助をする。

### ◎新たな担い手経営開始等支援事業・・・2,540万円

新規就農者や農業参入企業に施設の新設や機械導入等を支援する。就農希望者雇用にも助成する。

### ◎農業用機械等共同利用・連携促進事業・・・830万円

農業の複数の担い手がコスト削減や規模拡大に必要な機械等の導入経費の一部補助する。

### ◎林業作業士確保育成支援事業・・・430万円

林業に携わる林業作業士育成の国の事業の対象外の期間に対し、費用の一部を助成する。

### ◎ジビエ販路拡大支援事業・・・300万円

猪、鹿等の有害鳥獣の捕獲後の食肉やペットフードなどへの利活用の取り組みを支援する。

### ◎教育シンポジウム開催事業・・・188万円

教育大綱の趣旨を市民に周知し、大分の教育の未来を考える。

### ◎市立幼稚園一時預かり事業・・・1,068万円

大在・舞鶴・宗方の3園で一時預かりを試行し、成果と課題を検証し今後のあり方を検討する。

### ◎教科指導マイスター派遣事業・・・1,400万円

退職教員を「指導マイスター」として基地校に派遣し、近隣担当校の理数英の教員指導をする。

### ◎小中学校空調設備整備事業・・・1,820万円

小中学校の普通教室にPFI手法で、2020年度（平成32年度）までにエアコンを整備する。



市立舞鶴幼稚園

**【一般議案】** 法律の改正に伴い介護施設等の規準を一部改正する議案もありますが、主なものは次の通りです。

### ◎いじめ問題再調査委員会条例の制定

「いじめ問題第三者委員会」の調査結果に対して、市長が必要と認めた場合、再調査する委員会を設置します。

### ◎民生委員の定数を定める条例の改正

大分市民生委員の定数を、850人から870人に変更します。

**【意見書】** 次の意見書が全会派一致で採択されました。

### ◎ヘイトスピーチを禁止する法律の制定等の対策強化を求める意見書

特定の国や人種に対する差別をあおるヘイトスピーチの禁止を求めます。

### ◎高齢者の消費者被害を予防・救済する法制度の実現を求める意見書

高齢者が悪質な勧誘による契約等の消費者被害を予防、救済する法制度の実現を求めます。

〈我が会派から提出したが、採択されなかったもの〉

### ◎奨学金制度の改善を求める意見書

(給付型奨学金の創設などを求めます。)

### ◎労働基準法改正案の撤回を求める意見書

(長時間労働を助長する可能性のある内容の労働基準法改正案の撤回を求めます。)

**代表質問・篠田良行議員** 会派を代表して篠田良行議員が代表質問を行いました。2年目を迎える佐藤樹一郎市長に対して、立憲主義について、伊方原発対応、県との連携、経済対策など、市長の政治姿勢を質しました。

